

2. 指標設定

成果指標	指標名	庁舎周辺整備		目標年度	H26	指標の設定理由			
	数値					総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-2-1)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	基本構想策定	b	基本設計	c	実施設計	d	庁舎建設工事
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
庁舎周辺整備		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 基本構想策定		—	—	—
		—	—	—
b 基本設計	千円	18,186	—	—
	%	100.0	—	—
c 実施設計	千円	0	53,530	—
	%	0.0	100.0	—
d 庁舎建設工事	千円	0	100,000	2,338,644
	%	0.0	4.5	100.0

4. 課題と対応

課題
旧庁舎解体後、消防団詰所の建設・解体と駐車場の整備等を実施する。
対応（改善点等）
平成26年度に本事業は終了する。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

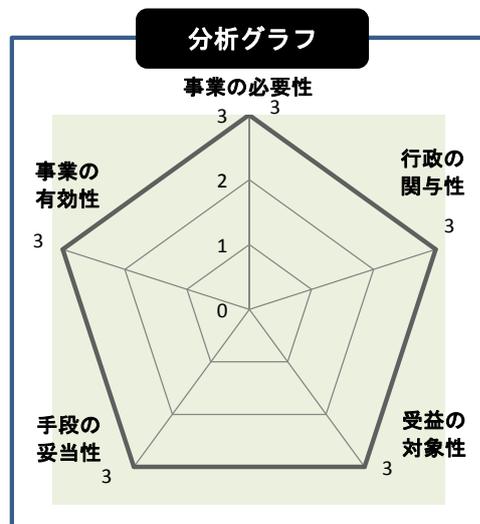
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		120,560	255,073	2,338,644	110,000
うち経常経費					
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	95,100	235,400	2,140,900	104,500
	その他				
	一般財源	25,460	19,673	197,744	5,500
うち経常					
事業費に係る人件費		7,008	6,020	6,011	3,923
事業費に係る人役		1.60	1.40	1.40	0.90

6. H26年度予算の方向性

方向性
減額
理由
旧庁舎解体は25年度に終了することから大規模工事がないため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 新庁舎完成後、旧庁舎を解体し、駐車場整備をすることが決定している。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 地方自治法第4条により、庁舎建設事業を行い、完成後の跡地利用として継続して実施するもの。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 現状の駐車場は未舗装部があり、手狭なため、来庁者の利便性の向上を図る必要がある。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市民の利便性を図るためには適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 周辺整備事業を実施することで新庁舎整備事業のすべてが完了する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	旧庁舎解体後、適切な周辺整備事業を実施すること。